

四方田 千恵 (垂水千恵)

① 研究業績

1. 著書

- ・ 陳芳明『台湾新文学史』陳芳明著・下村作次郎、野間信幸、三木直大、垂水千恵、池上貞子訳、東方書店、上巻454頁・下巻462頁のうち下巻所収の第18～20章（65～200頁）の翻訳、および該当章の「解説」（449～454頁）の執筆、2015年12月

2. 論文

- ・ 「台裔作家が描く台湾表象 - 陳舜臣・東山彰良を中心に -」垂水千恵、『ときわの杜論叢』4号、20～36頁、2017年3月
- ・ 「すでに周縁ではない？ 台湾 LGBTQ 文学」垂水千恵、『すばる』38巻8号、104～111頁、2016年8月
- ・ 「日籍作家所描繪的新竹—以日影丈吉〈騷動的屍體〉為中心—」垂水千恵『陳惠齡主編『伝統與現代：第1屆台湾「竹塹学国際学術研討会論文集」台北：萬卷楼図書、15～32頁、2015年5月
- ・ 「丸谷才一の顔を避けて—『裏声で歌へ君が代』試論」垂水千恵、『新潮』101巻11号175～185頁、2014年10月
- ・ 「台湾という身体の「再現」—真杉静枝を書くということ—」垂水千恵、張季琳主編『日本文学における台湾』台北：中央研究院人文社会科学研究センター、41～62頁、2014年10月
- ・ 「「世界文学」と文化の政治—張愛玲「色、戒」の日韓翻訳を例として」垂水千恵・黄善美、『ときわの杜論叢』創刊号』111～128頁、2014年3月
- ・ 「一九三〇年代日本文学における「野蛮」への共鳴をめぐって」垂水千恵、池内輝雄・木村一信・竹松良明・土屋忍編『＜外地＞日本語文学への射程』東京：双文社出版、31～51頁、2014年3月
- ・ 「表象之鏡：當代台灣／日本如何描繪彼此—以吉田修一《路》及魏德聖《海角七號》為中心」垂水千恵、『中語中文学』第56輯、韓国中語中文学会、453～470頁、2013年12月
- ・ 「戦後の創作活動から見る、台湾人作家にとっての「日本語文学」—邱永漢・黄靈芝を例として」垂水千恵、郭南燕編『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』東京：三元社、275～291頁、2013年6月
- ・ 「紀大偉は如何に大島渚を受容したか—儀式を中心として—」垂水千恵、横浜国立大学留学生センター研究教育論集第21号、53～72頁、2013年3月
- ・ 「日本文学中的少数民族之飲食文化象徴—以開高健的《日本三文歌劇》、小松左京的《日本阿帕契族》、梁石日《賭夜》為討論中心」垂水千恵、焦桐編『山海戀 原住民飲食文學與文化國際學術研討會論文集』台北：二魚文化、180～p195、2013年1月

3. 科研費実績

- ・ 「基盤研究 (C) 17K02658、平成 29 年度～平成 31 年度、「台湾現代文学における多元性の再構築—新移民・LGBT 文学を中心に」（共同研究）、研究代表者・四方田千恵 (垂水千恵)、直接経費総額 330 万円
- ・ 「基盤研究 (C) 26370424、平成 26 年度～平成 28 年度、「台湾文学における日本表象の相互性」（共同研究）、研究代表者・四方田千恵 (垂水千恵)、直接経費総額 340 万円

- ・ 「基盤研究 (C)」23520421、平成 23 年度～平成 25 年度、「台湾現代文学におけるセクシュアリティおよび日本表象のポリティクス」(共同研究)、研究代表者・四方田千恵(垂水千恵)、直接経費総額 370 万円。

4. 学会発表、他

(1) 国際学会発表

- ・ 「津島佑子試論—互補の想像力：従異族到野蠻」垂水千恵、圓光大学主催「第 4 次東亜殖民地文学国際会議」、2018 年 2 月 22～23 日
- ・ 「翻譯郭松棻作品的困難與問題」垂水千恵、臺灣大學臺灣文學研究所主催「論寫作：郭松棻與李渝文學研討會」、2016 年 12 月 17～18 日(招聘)
- ・ 「従陳舜臣『残糸曲』看日本華僑文学」垂水千恵、留中总会文艺写作学会和皇太后大学孔子学院 10 周年庆主催「‘一带一路’与泰国华文文学”国际学术研讨会」、2016 年 7 月 24 日
- ・ 「台裔作家的台湾／中国書写——以陳舜臣・東山彰良為中心」垂水千恵、国立東華大学主催「第七屆文學傳播與接受國際學術研討會」、2016 年 25, 26 日(招聘)
- ・ 「日本人作家如何描繪臺灣「獨立」——以丸谷才一《用假聲唱！君之代》為論述中心——」垂水千恵、臺灣大學臺灣文學研究所主催「第一屆文化流動與知識傳播——台灣文學與亞太人文的相互參照」國際學術研討會、2014 年 6 月 20～21 日(招聘)
- ・ 「日籍作家所描繪的新竹——以日丈影吉《騷動的屍體》為中心——」垂水千恵、國立新竹教育大學中國語文學系與新竹市政府主催「第 1 屆台湾「竹塹学」國際學術研討會」2013 年 11 月 8, 9 日(招聘)
- ・ 「表象之鏡：當代台灣／日本如何描繪彼此——以吉田修一《路》及魏德聖《海角七號》為中心——」垂水千恵、2013 年度韓國中語中文学会聯合國際學術大会」2013 年 11 月 1-3 日(招聘)
- ・ 「「世界文學」與文化政治—以張愛玲《色，戒》的日韓翻譯為例」黃善美・垂水千恵、国立台湾大学主催「文化流動與知識傳播——方法論與實例研究國際學術研討會」2012 年 11 月 9-10 日(招聘)

(2) 招聘講演

- ・ 專題演講「日本人作家丸谷才一如何描寫臺灣「獨立」？——試論《用假聲唱！君之代》——」垂水千恵、主辦單位：政治大學台灣文學研究所、2016 年 2 月 22 日
- ・ 「圓桌論壇」垂水千恵、國立台灣師範大学主催「第八屆台灣文化國際學術研討會」第 1 屆台湾 2013 年 9 月 5-6 日、(招待講演)
- ・ 「1930 年代日本文學對「野蠻」的共鳴——以大鹿卓《野蠻人》、谷崎潤一郎《武州公密話》、山部歌津子《番人萊沙》為中心——」垂水千恵、國立政治大學邀請國際傑出教學及研究人才計畫(招待講演)、2013 年 3 月 5 日

(3) 国内学会発表

- ・ 「テーマ：1990 年代台湾文化を再考する：雑誌『島嶼辺縁』をてがかりにして」報告者：三木直大、洪凌、コメンテーター：山口守、垂水千恵、日本台湾学会第 18 回學術大会
- ・ 「テーマ：台湾文学・映画における日本表象と日本文学における台湾表象の相互性」報告者：小笠原淳、赤松美和子、劉靈均、コメンテーター：垂水千恵、張文菁、三須祐介、日本現代中国学会第 65 回全國學術大会、同志社大学、2015 年 10 月 24 日

(4) 国際シンポジウム企画・主催・運営

- ・ 「国際シンポジウム：移民工文學與文學獎國際研討會」台湾大学台湾文学研究所、2017 年 12 月 27 日

- ・「国際シンポジウム：作家・甘耀明氏に聞く台湾文学における日本表象」台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、2017年1月21日
- ・「国際シンポジウム・前衛としての台湾文学：1990年代文化論再考」キャンパスイノベーションセンター（CIC）東京408号室（広島大学東京オフィス）、2016年10月22日

②社会活動

- ・ 日本台湾学会第10期理事（2017.5～現在に至る）
- ・ 日本台湾学会第9期常任理事・副理事長（2015.6～2017.5）
- ・ 日本台湾学会第8期常任理事（2013.5～2015.5）

③学内活動

- ・ YNU 日本語日本文化プログラム委員（2016.5～現在に至る）
- ・ 世宗プログラム運営委員（2013.4～現在に至る）
- ・ 世宗プログラム準備委員会委員（2011.10～2013.3）
- ・ 日韓理工系プログラムWG委員（2010.4～現在に至る）